

ニュース

みんなでつくろう！

しまやけべいせき  
下宅部遺跡はっけんのもり

第96号【'09-7月号】

発行：下宅部遺跡  
はっけんのもりを育てる会  
東村山市諏訪町1-6-3  
TEL：042-396-3800  
発行日：平成21年7月10日

# 下宅部遺跡 はっけんのもりは みんなの公園です



落書き（一部）と回収したゴミ

去る6月10日に、はっけんのもりの通路にいたずら書きがスプレーペンキで書かれている、との通報がありました。早速、現地を確認したところ、写真のような落書きがありました。また草むしりをしている育てる会の会員さんに確認したところ、タバコの吸殻やごみがよく捨ててあることがわかりました。落書き以外にも、円形のものやスプレーペンキで塗った跡などもあり、ここで複数の人間がタムロし、落

書きをしていたのではないかと考えられます。

以前にも、トイレ内での火遊びやシャッターの破壊などがあったことから、今回は警察へ被害届けを提出しました。この時、警察の方からアドバイスをもらいました。それは、「不審な行動をしている人物がいたら、直ちに警察へ通報して下さい。」です。ふるさと歴史館、八国山たいけんの里、育てる会でも巡回等を強化します

が、防犯のために、気になるようなことを見かけたら、警察への通報を是非ともお願い致します。近年、テレビや新聞で報道されているように、物騒な事件が多発しています。安全に生活するためにも、事件の起こる前の防犯にご協力を

お願い致します。今回歴史館・会員間で話し合いをもち、除草作業中、草刈機の使用は30分程度のみとすることにしました。夏季の除草作業時間は、暑さが酷くなる前の午前7時から9時頃にするということになりましたので、終わりの30分のみ草刈機を使用します。現在の公園の美化を維持させるためには、活動する会員の人数に限りがあることから、草刈機を使用することがやむを得ないことや、実施時間についても、会員の健康上の安全を確保するために涼しい時間帯に行つことなど、みなさまにご理解をお願い致します。

「はっけんのもりを育てる会」とは？  
下宅部遺跡を後世に残すためにつくられた遺跡公園「下宅部遺跡はっけんのもり」(所在地 東村山市多摩湖町4丁目3番地)の管理・運営と、下宅部遺跡および考古学一般についての知識を広めることを目的としています。  
そのための具体的な活動としては、「下宅部遺跡はっけんのもり」の除草・清掃、縄文体験を行う開園周年イベント「お誕生日会」と「東京都文

化財ウィーク」参加イベント。縄文土器づくり教室とその時に作成した土器を焼く縄文土器の野焼き。日帰り研修見学会と宿泊研修。はっけんのもりの生物調査や縄文食の材料となる、トンクリ拾い。遺跡に関係する専門家の先生を招いての講演会。そして会の運営のための会議などを行っています。また、有志による土器部会・ファンギン部会があり、小学校への出前授業のお手伝いや、はっけんのもりでの案内も行っています。

## お知らせ

育てる会では、日常、公園の美化のために、育てる会会員による清掃・除草作業を実施しています。その中で除草作業中に使用している手動の草刈機の音について注意を頂きました。歴史館・会員ともども、その音が騒音になるとは思わずに、使用していたことについては、深くお詫び申し上げます。

第86回育てる会 研修見学会 報告

千葉県

市川市立考古博物館・歴史博物館

松戸市立博物館

第86回育てる会 研修見学会

高縁 慎吉

6月21日(日)生憎の雨、8時、東村山駅予定どおり出発、育てる会新入会員1人、八国山メイト2人を乗せ出発。千葉県を目指す。

此の地の生誕の歴史(地質学)が面白い。「最初は海だった」が始まりである。

500万年前 (アフリカで類人類がチンパンジと人類と二分化した頃)に遡らせる。わが東村山市周辺でも東京、狭山丘陵、武蔵野がまだ海の中で、飯能、青梅、五日市、八王子が海岸線、青梅でクジラが泳いでいた。

2000年から1000万年前ごろ狭山丘陵が浅い海になっていた(古東京湾)。多摩川が元気で氾濫を繰り返す、

や「ククジラの骨(5000年前)」の発掘が見られる。

4000年前(はっけんのもり)に縄文人がすむ。生活道具が埋没遺跡として残る。

と、大雑把な解釈、整理をしてみる。

◎市川市 人口35万人

1、市川考古博物館、

37年前 開館 旧石器から平安時代までの市川市を説明、展示。

見学目的 Ⅰ、標式土器「堀之内式」の重要遺跡。Ⅱ、旧式展示館

Ⅰ、豪雨のため野外の「堀之内貝塚」は見学できない。この遺跡の地名が標準「堀之内式土器」名となる。薄くて、独特の洗練されたつくり。土器の制作意欲が湧く。

此の様式の土器は、縄文時代後期前半に盛んに作られ「はっけんのもり」でも多数発掘されています。

□、貝塚が多く、埋葬人骨も見られます。Caが多い地層が人骨の残った要因です。

Ⅱ、下総国分寺 律令制度。国の形が決まる。

2、市川歴史博物館

見学目的 友の会の活動を聞く。活

発で会員250名を要する。企画展も企画。

◎松戸市 人口48万人、東京のベッドタウンとして急成長。

3、松戸市立博物館 14年前に開館。「見て触れて体全体で感じる」。感動体験型展示館。

見学目的 近代的な展示方式館。

Ⅰ、アクリル透明版、ビデオ、模型による立体的展示 100インチ画面での映像上映。

□、虚無僧寺院(旧・一月寺) 江戸時代の小金宿。尺八姿で托鉢で全国修行、本山があった。

◎東村山市 人口15万人。

4、ふるさと歴史館 八国山たいけん



市川市立考古博物館のククジラの骨格標本

の里開設記念企画展を見学。

「水のめぐみ 下宅部遺跡」の展示物を、千葉学芸員から説明を受けました。

展示物のかご類に圧倒されました。水辺で杭として使用された生ウルシのかき疵のある生々しい原木。土器類等、豊富に展示され感激しました。貴重すぎます。

学芸員の知識の豊富さ、説明の上手さに舌を巻く。勉強になる一日でした。

### 松戸市立博物館見学雑感

両澤 清

雨の中、松戸市立博物館に行ったが、見学時間はたったの三十分であった。急ぎ足で見て回ったが、見るべきものがたくさんあった。

まず縄文後期の丸木舟である。長さ5.7mとわが市のふるさと歴史館展示物に比べてやや小ぶりであるが、完成品である。人目を引く展示物であった。同じような丸木舟をあちこちの博物館で見たいことがある。

わが市の物は、より大きくグロテスクであるため話題となるが、展示の仕方を同じように工夫するの必要を感じた。つまり目の高さ、照明を当てるな

どである。縄文時代最大の加工木造物を宣伝するためにも、大切なことであると考えた。

次に常盤平岡地の展示である。2DKの間取りに、高度経済成長期の名残りである「三種の神器」が、使用されたそのままの状態で展示されていたのである。テレビ（白黒）、洗濯機、冷蔵庫である。

一緒に行った仲間は、「型が古い」とか言っていたが、当時としては誰もがあこがれた品物であった。この三つを揃えることができれば、最高の生活であった。

それよりも、団地生活そのものが



松戸市立博物館の縄文時代の展示

一般の人にとってあこがれの的であった。本市においても、かつて久米川公団住宅ができたとき、当時の町報で「ここに居住される方はほんとうに幸せなことでしよう。」（一九五八年三月一〇日号）と書かれている。

みんなが集まったのはアンギン織りである。二人の指導者が説明していたが、私たちの会の道具に比べ、台ががっちりとしており、切り込みもしっかりしていて、みんなはうらやましがっていた。

## 育てる会の仲間たち〜会員紹介その九〜

「育てる会の仲間たち」では、はっけんのもりで活動する育てる会のメンバーを紹介しています。今回はその六回目です。さて、どんな方が登場するでしょう？

### 凡例

- 1 会員の名前
- 2 住所
- 3 特技・興味あること
- 4 育てる会に対する想い



- 1 大橋七重
- 2 東村山市多摩湖町
- 3 福祉の仕事を始め、10年になります。今ではこの仕事に特技のように楽しく、どっぷりと浸かっています。
- 4 子供の頃から歴史に興味があり、学生時代も日本史を専攻したのです

が、その方面に携わる機会もありませんでした。ところが、幸運にも入れた都営住宅の下から縄文時代の遺跡が発見されたこと知り、不思議な縁のようなものを感じています。そこに下宅部遺跡があることが今の私のよすがとなっています。それにしてもほとんど活動できていませんが、生きていく限りできる範囲で係わり、見守っていきたいと思っています。

- 1 安田幸世
- 2 東村山市美住町
- 3 仏教美術
- 4 まだまだ未熟者です。育てる会が発展するペースに遅れないように、自分も頑張る。

# 漆掻き、今昔

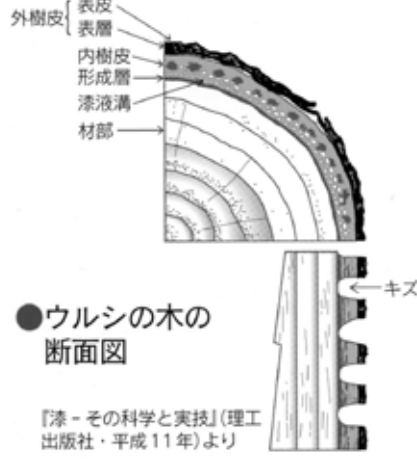
現代の漆掻きでは、専用の刃物（ウルシカンナ）でウルシの木に何本もの傷を付け、専用のへらで樹液を集める。ウルシの樹液が流れている管を漆液溝というが、これは、樹皮の内樹皮の部分に通っているため、樹液の採取のためには内樹皮までの傷を付ける。過去に行われていた採取方法も、道

具や手法は別として、ウルシの木に傷を付け、そこから分泌される樹液を採取する点においては違いがない。江戸時代の例としては、宝暦四年（1754）刊行の『日本山海名物図会』に養生掻きの紹介がある。太い木に短い傷を間隔を開けて付けており、中央手前の若木にはまだ傷はない。傷を付

けるのに使用している工具は、通常の草刈り鎌に近い形状をしている。富山県小矢部市桜町遺跡からは、現代の手法に近い、密な傷の付け方による江戸初期の資料が出土している。ただし、傷の幅は2〜3ミリと狭い。埼玉県吉見町西吉見条里遺跡からは、古代のウルシ樹液採取の傷を持つ杭が発見されている。傷の幅は五〜八ミリと幅が広く、断面形は丸みがあり、現代のウルシカンナの刃の形状に近い工具を使っていたように思える。ただし、傷の間隔は十〜十二センチと広い。過去の具体的な資料はまだ数が少なく、地域もバラバラであり、系統だった検討は今後の課題である。（千葉）



岩手県浄法寺の現代の漆掻き



富山県小矢部市桜町遺跡の江戸初期の漆樹液採取の傷



東京都東村山市下宅部遺跡の縄文時代後期の漆樹液採取の傷



埼玉県吉見町出土の古代の漆樹液採取の傷

## 育てる会 今後の予定

- 7月11日(土) 午前7時から  
除草・清掃作業(はっけんのもり)
- 7月18日(土) 午前9時から  
第87回育てる会「水生生物調査」  
(はっけんのもり)
- 7月23日(水) 午後1時30分から  
アングイン部会(八国山たいけんの里)
- 7月25日(土) 午前7時から  
除草・清掃作業(はっけんのもり)
- 8月2日(日) 午後1時30分から  
縄文土器教室(八国山たいけんの里)
- 8月5日(水) 午後7時30分から  
定例検討会議(ふるさと歴史館)
- 8月8日(土) 午前7時から  
除草・清掃作業(はっけんのもり)
- 8月13日(水) 午後1時30分から  
アングイン部会(八国山たいけんの里)

## 育てる会 会員募集

みなさんも育てる会の仲間たちと一緒に、下宅部遺跡はっけんのもりを成長させませんか？

- 正会員：会費年間1200円
- 通信会員：会費80円切手12枚
- お申し込み：ふるさと歴史館
- ☎042(396)3800まで